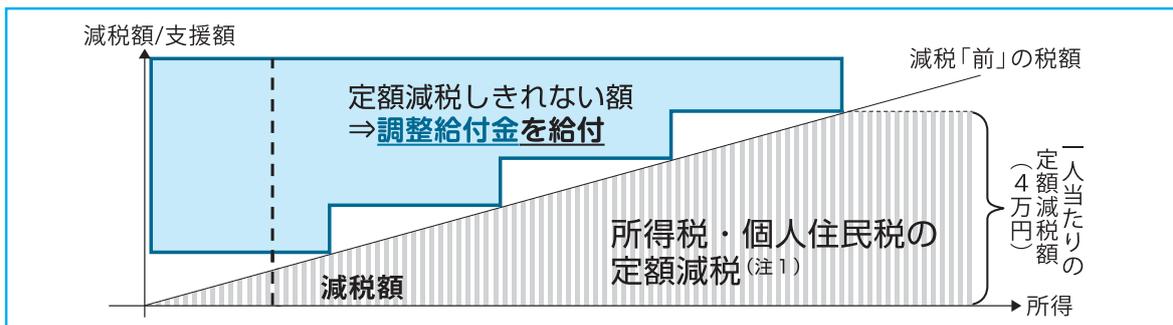


「定額減税しきれないと見込まれる方」への 給付金（「調整給付金」）のご案内

「調整給付金」とは？

- デフレ完全脱却のための総合経済対策における物価高への支援の一環として、納税者及び同一生計配偶者又は扶養親族1人につき、4万円(令和6年分の所得税から3万円・令和6年度分の個人住民税所得割から1万円)の「定額減税」が行われています(注1)。
 - その際、定額減税しきれないと見込まれる方に対しては、当該定額減税しきれない額を1万円単位に切り上げて算出した「調整給付金」が給付されます(注2)。
- 〈調整給付金のイメージ(注3)〉



- (注1) 定額減税についての詳細は、町HP・国税庁HPや総務省HPをご覧ください。
- (注2) 令和5年の課税状況に基づき、給付額を算定のうえ、令和6年度個人住民税課税団体より支給されます。令和6年分の所得税が令和5年分の所得税よりも減少した場合等には、令和6年分の所得税の確定後に、給付金を追加で給付する場合があります。
- (注3) 所得税及び個人住民税所得割それぞれで定額減税しきれない額を算出し、両者を合算の上、1万円単位に切り上げた額が給付額となります。

給付対象者・給付金額について

※給付金額は、個別の課税状況により異なるものであり、下記はあくまで一例です。

- 所得税と個人住民税所得割の少なくとも一方を納めていて、定額減税しきれない額が生じることが見込まれる方が給付対象者です。
 - 支給金額の具体例は、以下のとおりです。
- ＜例1＞一人暮らしで、所得税1万円・住民税所得割2万円(減税前)の納税者の場合
→ 所得税から1万円の減税、住民税所得割から1万円の減税が行われます。
・定額減税しきれない所得税分の2万円が、調整給付金として支払われます。
- ＜例2＞4人家族で、内1人が所得税3万円・住民税所得割2万円(減税前)の納税者の場合(注4)
→ 所得税から3万円の減税、住民税所得割から2万円の減税が行われます。
・定額減税しきれない所得税分の9万円と住民税分2万円の計11万円が、調整給付金として支払われます。

(注4) 所得税及び個人住民税において、扶養親族等として申告されている方が、定額減税及び調整給付金の算出基礎となります。詳しくは国税庁HPや総務省HPをご覧ください。

給付金の支給手続き

対象の方には城里町(注5)から確認書またはお知らせを8月9日(金)以降に発送します。

(注5) 令和6年度個人住民税課税団体

確認書【封書】が届いた方

確認書の返信が必要です。

- 給付金受取口座など必要事項を記入し、本人確認書類や通帳等の写しと一緒にご返信ください。
- 確認書の到着順に処理します。

↓
審査の上、順次、給付金を口座振込します。

お知らせ【圧着ハガキ】が届いた方

手続きは必要ありません。

- 登録されている口座へ振込します。
- 振込不能であったときは、確認書による手続きをご案内します。

↓
初回振込日 令和6年8月29日(木)

問合せ 税務課 ☎029-288-3111(内線122・124)